

## 施工説明書 施工業者様用

# 直張り接着工法用無垢フローリング

## グランドフローリング 無垢ピノアース

## グランドフローリング 無垢ピノセーフ(衝撃吸収タイプ)

このたびはウッドワンの商品をご採用いただき、誠にありがとうございます。  
 施工前にこの施工説明書をよくお読みいただき、安全に正しく施工されるようお願い致します。  
 製品を安全に正しくお使いいただき、お客様や他の人々への危害・財産への損害を未然に防止するために、「安全上のご注意」をよくお読みください。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ずお守りいただき、内容をよく理解して正しくお使いください。

## 安全上のご注意 安全に正しくお使いいただくために必ずお守りください



### 注意

施工に際して以下の注意が守られない場合、施工に従事される方の傷害並びに住まわれる方の傷害または財産上の損害が生じるおそれがあります。確実にお守りください。



禁止

#### ・屋内専用。

屋外や浴室に使用すると、湿気、雨濡れ、強い太陽光などにより腐れ、割れなどの劣化が進む原因となります。

#### ・油性・水性ワックスの使用禁止。

油性・水性ワックスはすべりやすくなる為、当社推奨の樹脂ワックスを使用してください。

#### ・ピアノ・大型冷蔵庫等重量物の直置き禁止。

床材が沈み込むおそれがありますので必ずインシュレーター等を使用してください。

#### ・モルタル下地以外の施工厳禁。

本製品はモルタル下地専用です。合板、MDF、パーティクルボード、遮音マット等の下地や二重床・既存の床の追い張り等への施工はしないでください。実折れや割れの原因となります。

#### ・床暖房施工禁止。

本製品は床暖房対応の床材ではありません。床暖房の施工はしないでください。



必ずおこなう

#### ・開梱後は換気を行なう。

本製品はホルムアルデヒド・VOC(揮発性有機化合物)対策品です。ただし、新築・リフォーム直後や夏場など高温の環境下ではホルムアルデヒド・VOCが室内に滞留しやすく、健康被害につながるおそれがありますので、施工中、使用中は適宜換気を行うようにしてください。

### 注意!

#### ・フロアコーティングは推奨していません。

推奨ワックスをご使用ください。  
 (フロアコーティングは、はがれ・床鳴り等の不具合を発生させることがあります。)

## 施工終了後

### 養生

当て傷・擦り傷等がつかないように保護紙等でカバーして養生してください。  
 粘着テープなどは直接商品に貼り付けないようにしてください。

### お手入れのしかた

枠材が汚れている場合は、水で薄めた中性洗剤を含ませた柔らかい布を強くしぼってふき取り、乾いた布で仕上げてください。  
 ベンジン・アルコール・シンナーなどの溶剤を使用すると変色・変質しますので、絶対に使用しないでください。

# 1 施工の前に確認してください。

## ① 開梱

梱包を開いたら数量に不足及び損傷等の問題が無いかどうかを確認してください。当製品は木質製品です。

輸送中・施工中の水漏れは厳禁です。

開梱後、製品に水漏れ等の不具合があった場合には必ず施工前にお買い求め店または弊社までご連絡ください。

また開梱後は速やかに施工してください。

## ③ 指定接着剤

ウッドワン専用接着剤(品番:ZX0211)～ウレタン系一液接着剤～(クシ目コテ同梱)

オーシカ(株)(品番:UR-145)～ウレタン系一液接着剤～  
コニシ(株)(品番:KU-928R)

※上記の接着剤からお選びください。

※酢酸ビニル系(白ボンド)・アクリル系エマルジョンなどの水性系接着剤は使用しないでください。

## ② フロアーの仮並べ

床材は木材のため、色や木目・溝部分に多少の違いが出る場合があります。施工前に全部の梱包を開いて色合わせをしてください。

極端な不具合などがありましたら、施工前にお買い求め店または弊社までお申し出ください。

施工後のお申し出には応じかねます。

# 2 施工手順

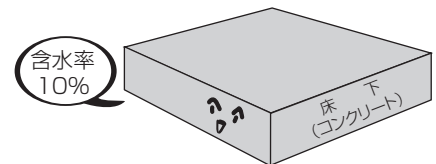
## ① 下地の確認

### (1)十分な乾燥の後、施工する

RC構造などの床下が完全防水の場合、下地材・床下等がひどく濡れた状態で施工すると、施工後の床材に伸びや膨れ・変色やカビの原因となるおそれがあります。床下地や床下が雨で濡れると乾燥するまでに時間を要します。屋根工事が終わるまではビニールシート等で濡れないように保護してください。

### (2)モルタル下地の場合

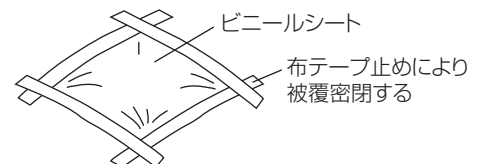
- モルタル含水率計を使用して、モルタル含水率が10%以下であることを確認してください。  
※乾燥の目安は、打設後、夏季で3週間、冬季で4週間以上が必要です。  
※含水率が10%より高いと接着不良や床材の反り・突き上げ・変色等が生じるおそれがあります。



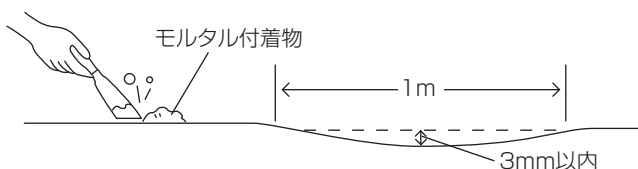
## お願い

### ■モルタル含水率計を使用しない場合

モルタル表面を1m×1mのビニールシートで覆い、24時間後、モルタル表面が変色せず、ビニールシート裏面に結露が発生していないことを確認してください。  
※テープでビニールシートを密封するために油污は溶剤で拭き取ってください。



- モルタル表面に粉ふきやほこりがある場合には、十分に除去してください。小粒のモルタル付着物が多く除去が困難な場合にはセルフレベルング材などで平滑にしてください。
- 不陸は、1mあたり3mm以下としてください。  
これより大きくなると踏み鳴りや接着不良のおそれがあります。



- 部分的な起伏・モルタルの浮き・亀裂がないことを確認してください。  
部分的な凹みは深さが3mm以下で広さが100cm<sup>2</sup>以内としてください。

### (3)ALC(軽量気泡コンクリート)下地の場合

- ALC板は表面がもろく、施工後、床材がはがれるおそれがあります。ただし、モルタル等で下地調整して「(2)モルタル下地の場合」同様の下地処理を行った場合は施工が可能です。  
※クッションフロアの上には施工できません。  
※合板・パーティクルボード・MDF・遮音マット等の下地および二重床・既存の床への追い張り等へのご使用はできません。

## ② フロアの割り付け・墨打ち

### (1) 割り付け・墨打ち

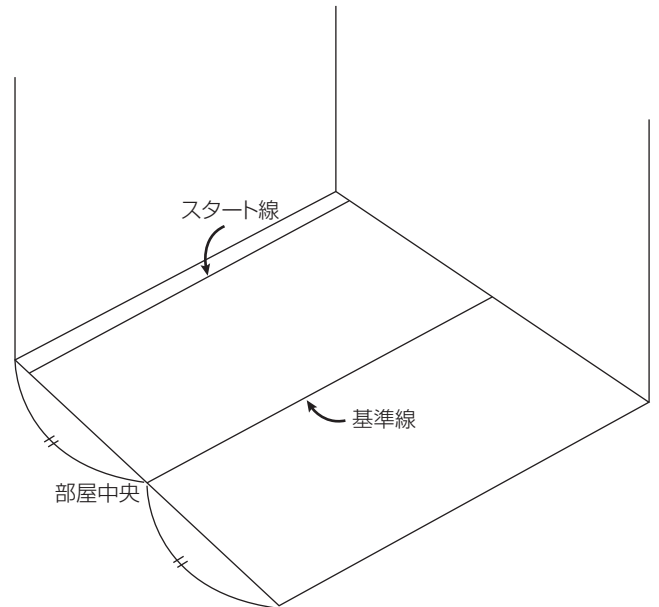
- 部屋の中央に基準線を墨出ししてください。
- 廊下や壁際などの隅部の納まりを考慮して、基準線を平行移動し張り始めのスタート線を墨出ししてください。

### (2) 張り始め

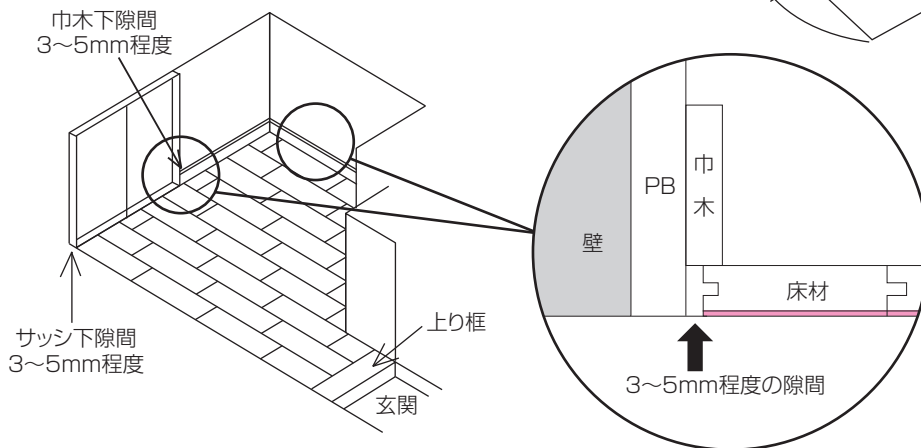
- 墨出したスタート線に合わせてフロアの張り始めの位置を決めます。

### (3) 壁際の納まり

- 床材周囲の壁・敷居・下枠サッシ下などとの間には、3～5mm程度の隙間を開けて施工してください。
- ※木質フローリングは、水分の吸湿乾燥によって、伸び縮みします。そのため、隙間を開けないと突き上げが発生するおそれがあります。
- ※3～5mm程度の隙間を開けられない場合には、床材の短辺部の接合を0.2～0.4mm程度の隙間ができるように軽く突いて施工してください。

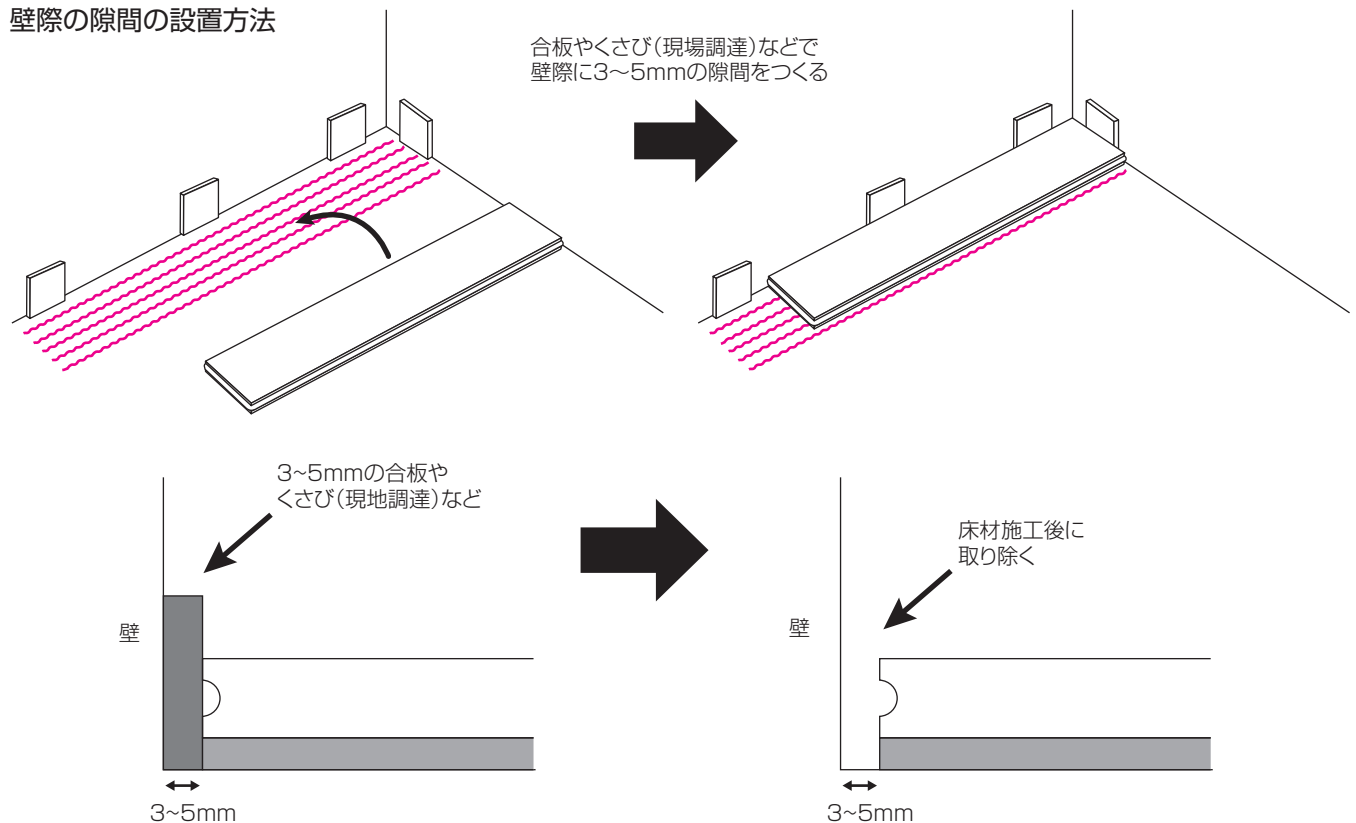


### 施工例



- 厚さ3～5mmの合板やくさび(現場調達)などを壁等と床材の間にはさみ、施工後に合板やくさびなどを除去すると隙間が開けられます。隙間を隠すため、巾木は後から施工してください。必要に応じてコーキング処理などを行ってください。

### 壁際の隙間の設置方法



### ③ 接着剤の塗布・張り施工

#### (1) 接着剤の塗布

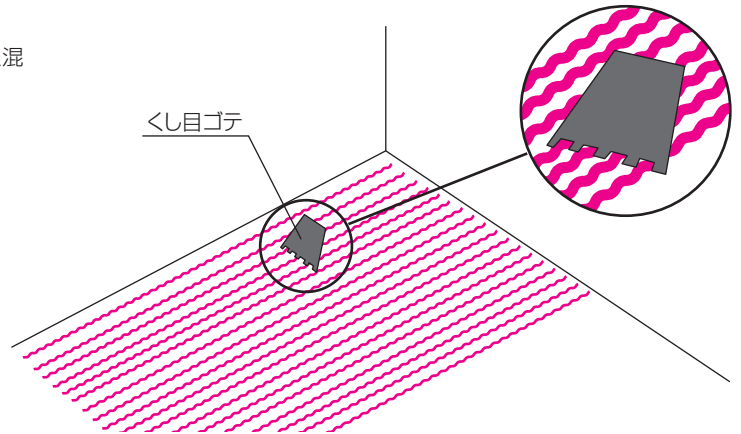
- 当社指定のウレタン樹脂接着剤で施工してください。接着剤をよく混ぜてから使用し、塗布後30分以内に床材を施工してください。

接着剤の塗布量:400~500g/m<sup>2</sup>(約30m<sup>2</sup>/20kg缶)

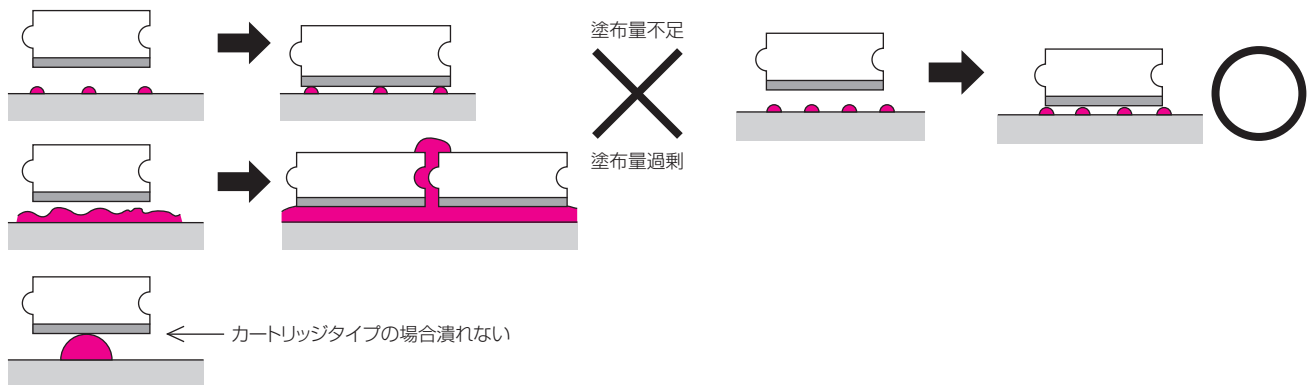
※同梱の専用クシ目コテをお使い頂きますと、おおよそこの塗布量になります。

※下地の不陸が大きい場合は、塗布量を多めにしてください。

※カートリッジタイプの接着剤は絶対におやめください。  
接着剤による不陸、段差で、実折れや割れの原因となります。



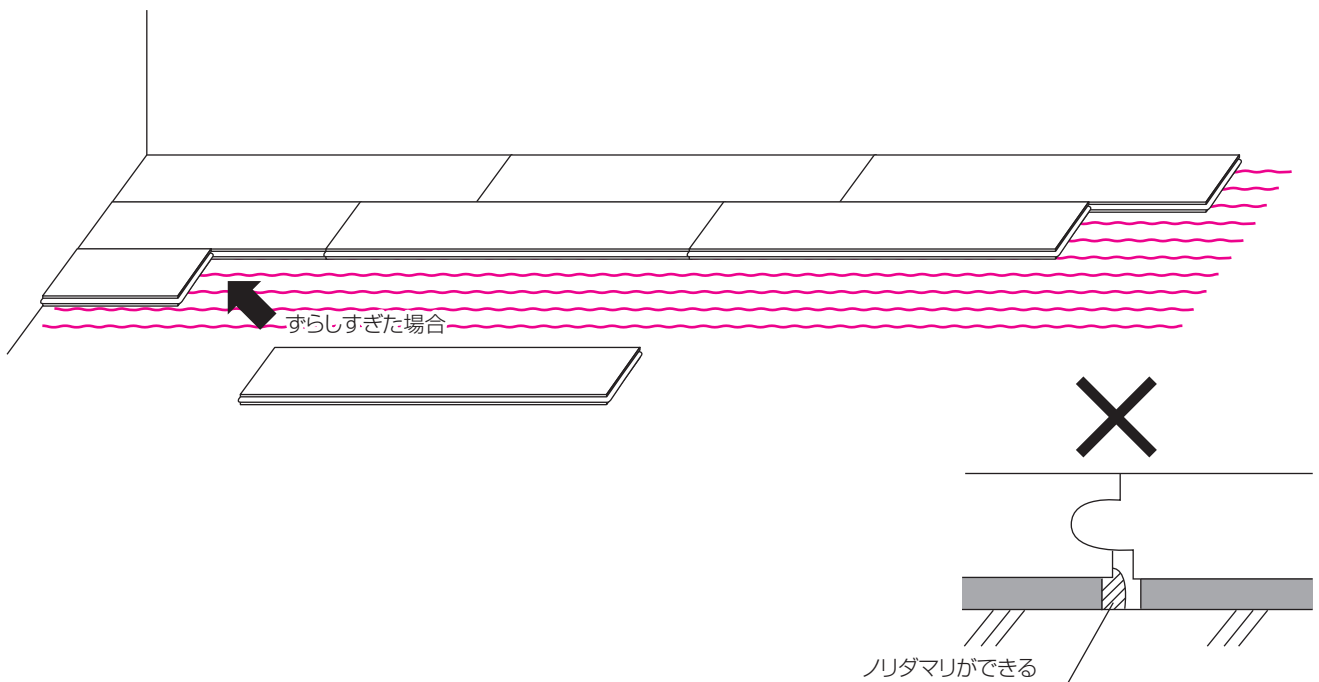
#### 接着剤の適正塗布量



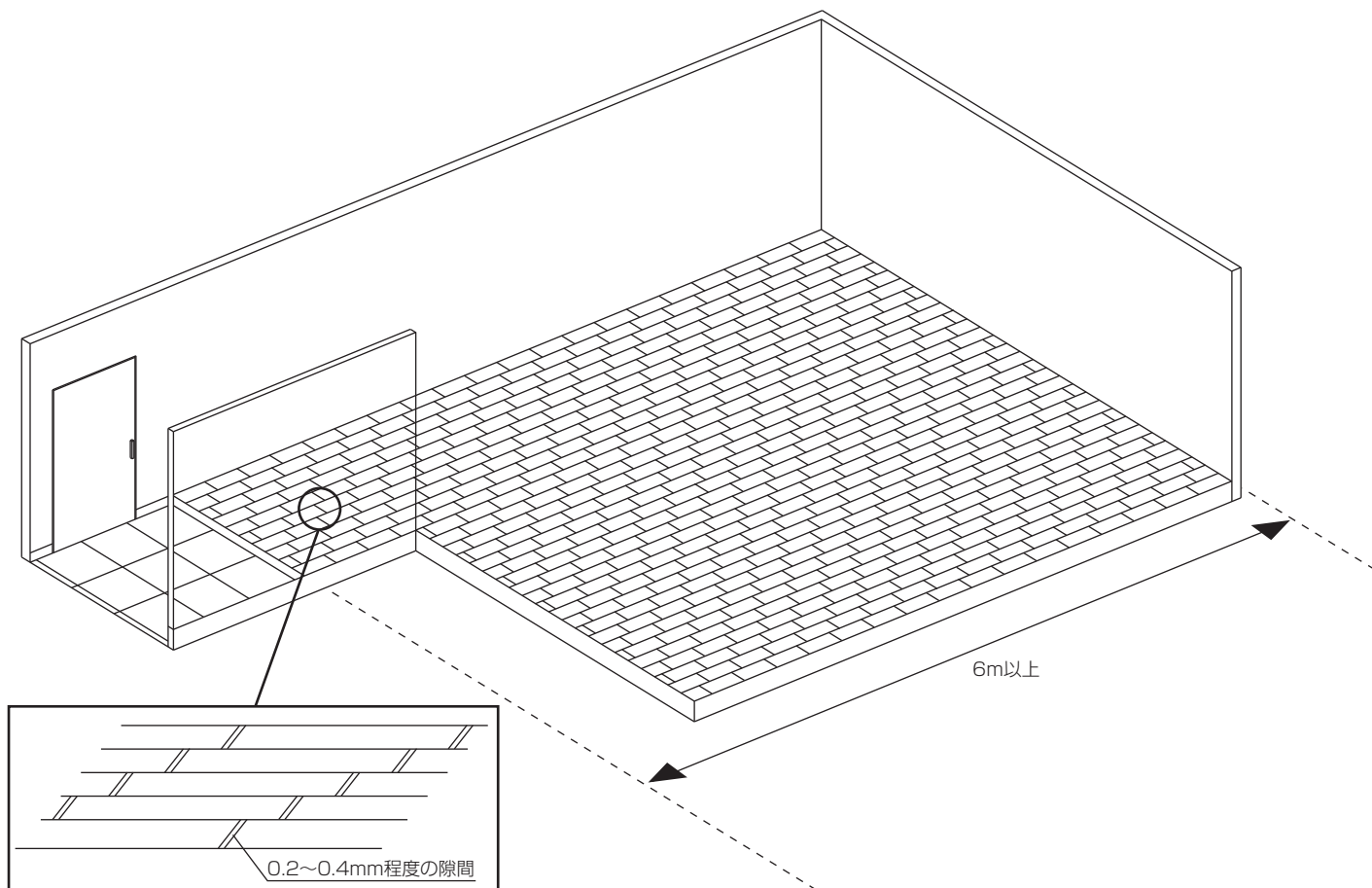
※接着剤の塗布が多すぎると踏み鳴りやフローア表面へのはみ出すおそれがあります。万一、表面に付着した場合には、直ちに濡れ雑巾または溶剤等で軽く拭き取ってください。硬化後では絶対にとれませんので注意してください。また、接着剤が少なすぎると接着不良のおそれがあります。

#### (2) 張り施工

- 2枚目以降のフローアは、できるだけずらさないようにしてサネを差し込んでください。ずらしすぎるとサネ部にノリダマリができて歩行感が硬くなります。



- フロアーの施工は、ゴムハンマーを使用し、フロアー表面を軽く叩いて、軽く突く程度にサネをはめてください。不陸等によりサネがはいりにくい場合には、再度、ゴムハンマーで軽く締め直してください。  
※踏み鳴りの原因となりますので釘は絶対に使用しないでください。
- フロアーは尺すらし(303mm)以上としてください。
- フロアーの長手方向の施工距離が長い場合(廊下〜リビング等)、湿気によりフロアーが伸びて突き上げが発生することがあります。6m以上の場合にはフロアー短辺部の接合部を0.2〜0.4mm程度フロアーの伸びを考慮した隙間を設けるか、見切り材をいれて、見切り材とフロアー材で3mm程度の隙間をもたせて施工してください。

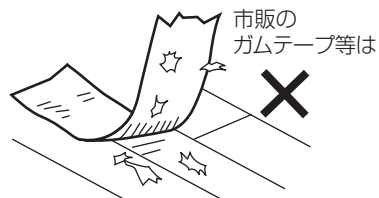


#### ④ 梅雨時期の湿度対策

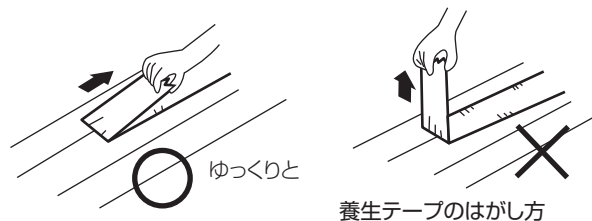
- 施工現場にて開梱後は養生期間をおかずに速やかに、施工してください。開梱後の製品吸湿には十分注意して施工をお願いします。

#### ⑤ 養生

- フロアー施工後、接着剤が硬化するまではフロアーが動かないよう適正に養生してください。(養生期間:1週間程度)
- 施工後は、木屑や砂、ごみをきれいに取り除いてダンボール、ベニヤまたは養生カバー等で隙間なくカバーしてください。市販のガムテープや粘着力の強い養生テープをご使用になりますと、塗膜の剥がれの原因になりますので、別売の養生テープ(ZY0211)をご使用ください。なお、養生に使う段ボールや、ボードは濡れていないことを確認するとともに、濡れないような配慮をお願いします。



- 養生テープを取り除く際は、テープを床面と垂直にしながらかき落とすと、製品表面の塗膜剥離をおこすおそれがありますので、テープを床面と平行にしながらかき落としてください。



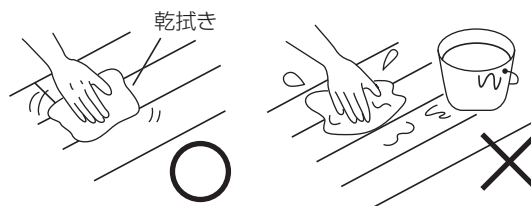
#### ⚠ 注意

養生期間中、絶対に暖房機器の使用は避けてください。フロアーのサネ接続部の隙間発生などの原因となるおそれがあります。

### 3 施工終了後

#### 汚れ落とし

ほこり、小さな汚れを乾いた布で乾拭きしてください。水拭きを行うと長期の間に割れが発生することがありますので、避けてください。ただし、汚れのひどい場合は、水で薄めた中性洗剤を含ませた雑巾を強く絞ってから拭いてください。



#### 美装作業上のお願い

美装業者様におかれましては、下記の点およびワックス塗布の注意事項について十分注意して作業してください。

※フローリング表面に、水や洗剤を撒き散らさないでください。変色や、床材の変形(膨れ)の原因になります。

※ポリッシャーには柔らかいパットをご使用ください。表面のキズの原因になります。

※**自然塗装製品には水は絶対に使用しないでください。毛羽立ち、白化、シミ等の原因となるおそれがあります。**

#### ワックス塗布の前に

##### ①ワックスの選定

半年に一度、ワックスによるお手入れを施してください。必ず弊社推奨のワックスをご使用ください。他のワックスはトラブルの原因になります。

無垢フローリングピノアースにはノンブライト、ハイテクフローリングつや消し40がおすすめです。

| 商品名            | 推奨ワックス                                 |
|----------------|--|
| ピノアース<br>ピノセーフ | ハイテクフローリングコートつや消し40、<br>ノンブライト(共にリンレイ) |

※**油性ワックス・ロウワックスは絶対に使用しないでください。**

(油性ワックスの上に樹脂ワックスを塗布した場合白化することがあります)

※化学雑巾は使用しないでください。(特にワックス塗布直前・塗布後は絶対に使用しないでください)

##### ②天気の良い日を選び、窓を開けましょう

※雨天等で、湿度が極端に高いときは避けてください

※気温が低く床材表面が5℃以下での使用はお控えください

※床暖房用フローリングのお手入れは、床暖房のスイッチを切り、フローリング表面が冷えてから行ってください。床暖房中に作業を行うと、床暖房パネルの故障、フローリング表面のヒビ割れ、変色などの原因となります。

##### ③汚れ落とし

(イ)床面のゴミ・ホコリ等を掃除機を使用して十分に取り除いてください。

(ロ)床用洗剤(「マイペット」、「オール床クリーナー」等)を薄めた液を雑巾に含ませ、強く絞ってから拭いてください。

※施工後の床材の表面には、汚れ・油分が付着しているので、十分に洗浄をしてください。

※洗剤を使用する場合は、予め目立たないところで試験洗いをし異常のないことを確認してください。

※アルカリ性の強い洗剤は使用しないでください。

※**洗剤を、フローリング表面に多量に撒き散らしたり、多量に塗布しないでください。**

※スプレータイプの床用洗剤の場合は、雑巾に洗剤をスプレーして拭いてください。

(ハ)水を含ませ、強く絞った雑巾で**洗剤を完全に拭き取ってください。**

※洗剤の成分が床面に残るとワックスの密着が悪くなります。

※床材の目地にも洗剤が残らないようにきれいに拭き取ってください。

#### ワックスの塗布

①床が完全に乾いたら、きれいな雑巾にワックスを含ませ、木目に沿って**薄くムラ無く均一に**塗ってください。

※雑巾は汚れ落とし用とは別のものを使用してください。

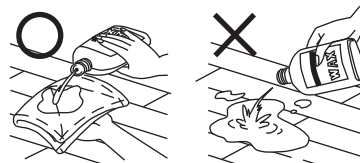
※ワックスを十分に攪拌してください。

※フローリング表面に**撒き散らして塗布せず、また塗りすぎないでください。**

※床材の目地に、樹脂ワックスが溜まらないように注意してください。

※重ね塗りの場合、**前に塗ったワックスを必ず乾かしてから塗布してください。**

②乾燥するまで、ワックスを塗ったところを歩かないでください。



#### ご使用において

※ワックスは床材を保護しメンテナンスが容易にできる反面、塗料に比べ柔らかい性質のためご使用において、すり傷状に見えたり、光沢がおちてくることがあります。スリッパの底面はきれいにし、また重荷物や椅子などを引きずらないようご注意ください。※水がこぼれて、そのまま放置したり濡れた足で歩くと、白化したり剥がれる原因になります。すぐに乾いた雑巾で拭き取ってください。

#### ⚠ 注意

ワックスは使用を誤ると、べついたり白化や粉化、変色、密着不良などの異常を起こす場合があります。必ず※印の注意事項を遵守してお手入れしてください。

ワックス剥離剤は製品の美観および品質をそこないます。絶対に使用しないでください。

※濃色系の床材は光沢の加減でワックスの擦り傷が目立つ場合があります。ご了承ください。